

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和13年度
市町村名 (市町村コード)	津市 (242012)
地域名 (地域内農業集落名)	産品地区 (産品)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	30.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	30.4 ha
② 田の面積	30.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	15.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	15.2 ha
(参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)⑤については、農地ごとに担い手の特定には至っていない農地も含む。

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区では、地区内外の担い手が耕作をしているが、うち1者の担い手が大部分の農地を集積している。一方で自作農家が耕作を続けている農地も、約4.6haある。中山間地を中心に獣害対策が必要な農地が多く、柵などの維持管理に苦慮している。また、畦畔や水路等の農業基盤の老朽化が進み、営農効率の低下につながっている。農業者の高齢化が進み、後継者不足が発生し、耕作できない農地も出てきている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻、麦、大豆等の土地利用型農業を中心に取り組むとともに、イチジクなどの果樹の栽培も継続して取り組む。これまで自作する個人農業者が耕作を続けてきた水田について、耕作が続けられなくなった場合は認定農業者AIに貸し付け、集約化をしていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクを通じた貸借を進め、担い手への農地集積・集約化を基本とする。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	46.7	%	将来の目標とする集積率
			60.1 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
自作する個人農業者を除き、区域内農地は農業を担う者に集約化を図る。また、他地区の担い手の参入や新たな担い手の育成に努める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
これまで自作する個人農業者が耕作を続けてきた水田について、耕作が続けられなくなった場合は認定農業者Aに集積をする。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地バンクに貸し付けることで、農地の集約化を円滑に進める。
(3)基盤整備事業への取組
農作業の効率化を図るため、畦畔や水路の修繕を必要に応じて行う。また、地権者の同意が得られる範囲での畦畔の除去についても検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
自作農家が耕作を継続できるよう地域で取組を進めるとともに、地域による農地や農業施設の維持管理について役割分担し、地域農業の維持・発展に地区全体で取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる防除作業等は、農業支援サービス事業者の活用も視野に検討を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①地域の獣害対策協議会と連携し、鳥獣被害対策(侵入防止柵や檻の設置、放置果樹や目撃・被害発生場所の共有等)に取り組む。
 ③担い手による農作業の省力化・効率化に向けて、少人数でも作業が可能となるスマート農機や耕作システム導入を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和13年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	担い手A	水稲、麦、大豆	10.0 ha	ha	水稲、麦、大豆	14.1 ha	ha	A	
認農	担い手B	大豆	2.1 ha	ha	大豆	2.1 ha	ha	B	
利用者	担い手C	果樹	1.7 ha	ha	果樹	1.7 ha	ha	C	
認農	担い手D	水稲、麦、大豆	0.4 ha	ha	水稲、麦、大豆	0.4 ha	ha	D	
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		14.2 ha	0 ha		18.3 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)